

報道発表(お知らせ)

電話・FAX番号に一部誤りがあり、訂正致しました。

- 情報通信研究機構、中国 首都信息発展股份有限公司と北京観光多言語情報サービスを
含む自然言語処理分野における研究開発協力に関する合意覚書に調印

- 平成19年12月19日

独立行政法人情報通信研究機構(以下「NICT」という。理事長:宮原 秀夫。)は、平成19年12月10日、中国 [首都信息発展股份有限公司](#)*1(以下、「CAPINFO」という。董事長:李 民吉、総裁:汪 旭。)と、同会社が取り組む北京観光多言語情報サービスの開発等への、NICTの協力に関する合意覚書に調印しました。



調印式:NICT松島裕一理事(中央右)と
CAPINFO高佳卿ITサービスディレクター(中央左)

今回の調印は平成19年3月北京にて開催された第6回ケータイ国際フォーラム*2において、NICTが示した中国における今後の展開に基づいて実現したものです。この覚書によって、NICT自然言語グループが開発した中日用例翻訳システム*3や中日対訳コーパス*4が、CAPINFOが提供する北京市の観光情報サービスに活用されることになります。平成20年夏に開催される北京五輪に向け、大きな変化を見せている北京観光などの最新情報やニュースに日本語でアクセスすることが可能となります。さらには、増え続ける日本から中国への観光客への言語情報サービスの充実化も期待されます。北京観光の中日言語サービスのイメージについては、別紙の図をご参照ください。

< 広報 問い合わせ先 >

総合企画部 広報室

栗原 則幸

Tel:042-327-6923

Fax:042-327-7587

<本件に関する 問い合わせ先>

知識創成コミュニケーション研究センター 推進室

江本 浩

Tel:0774-98-6810

Fax:0774-98-6955

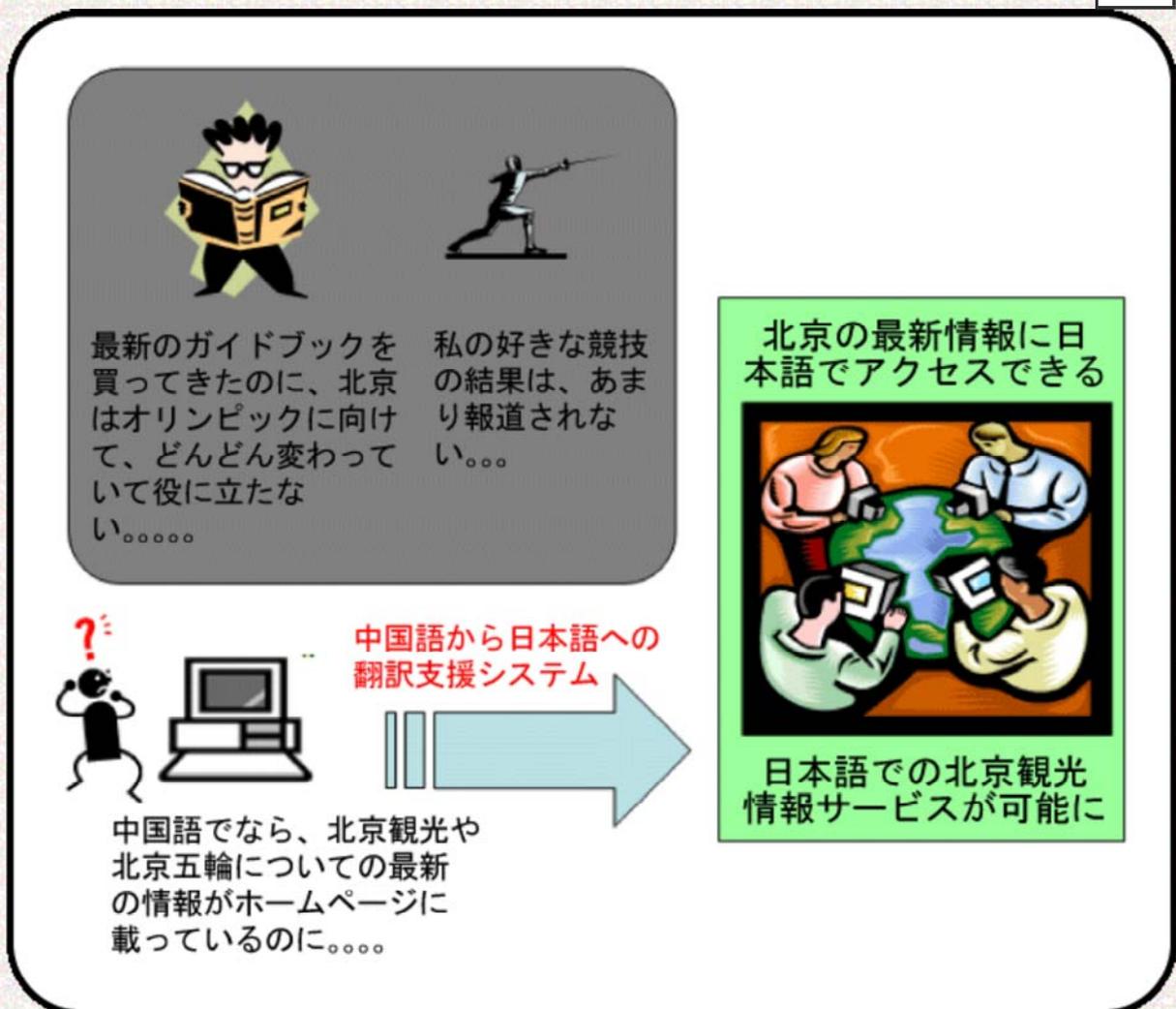
自然言語グループ

井佐原 均

Tel:0774-98-6830

Fax:0774-98-6961

別紙



北京観光の中日言語サービスのイメージ図

<用語解説>

- ※1 首都信息発展股份有限公司: 中国政府・北京市政府の出資による機関であり、北京市の観光情報サービスなどを担当すると共に、北京五輪の多言語情報サービスを担当している。
- ※2 ケータイ国際フォーラム: 通信、ものづくり、ソフト・コンテンツ、各種サービスなど多様な分野にわたるケータイ産業の発展を目的に、企業、大学・研究機関等とのビジネスマッチングを目的とした展示会や、国内外のケータイ企業トップによるセミナーや明日のユビキタス社会を展望するカンファレンス等を開催している。2002年に始まり、日本と中国を交互に開催地としている。
- ※3 中日用例翻訳システム: コンピュータ上に大量の対訳文書を蓄えておき、入力文(この場合中国語の文)の各部分と類似した対訳を見つけ、その対訳の日本語部分を組み合わせて、日本語への翻訳を行う。
- ※4 中日対訳コーパス: 中国語と日本語の文を文同士の対応、語句の対応などをつけてデータベース化したもの。今回の協力では、主として、CAPINFOが提供する北京観光やオリンピックに関する中国語文書をNICTが日本語に翻訳して作成する。